

留学報告書

タイ・モンクット王工科大学ラートクラバン校

学部学科・研究科専攻	工学部生命化学科		留学時学年	3年
留 学 先	国	タイ	大学/機関	KMITL
期 間	2025年2月3日 ～ 2025年2月13日			
	短期		計2週間	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数：参加した語学コースなし（ボランティア研修のため）
- ・科 目 名：参加した語学コースなし（ボランティア研修のため）

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8時半～16時	○	○	○	○	○	○	○
8時半～16時	○	○	○	○	○	○	○
8時半～16時	○	○	○	○	○	○	○

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

TOKAI 男5人 女4人 日本人9 担当教員1人
 KMITL 男6人 女7人 タイ人13 担当教員3～5人
 Srayaisomwittaya School 主に6～8人 （90人）

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

課外活動：現地高校生への日本の文化紹介、日本のお菓子作り、肥料・水道設備の整理、タイの竹細工作成体験、タイの芸能の体験（タイダンス）、最終発表、フェアウェルパーティー

研修旅行：スパンブリー県内の文化体験・見学、アユタヤ県内の文化体験・見学、バンコク見学

余暇：大学、高校の生徒とスポーツやゲームをしたり、ワット・アルンに行った。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

ミーティングルーム、フットサルコート、バレーボールコート、食堂

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：KMITL では 1 部屋 2 人、派遣先の高校では 10 人で 1 つの教室。高校では寝袋持参、教室で雑魚寝、シャワーはあるが水しか出ない。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと**：現地の高校、大学の生徒との生活、会話やスポーツなどを一緒にできたことがとても楽しく、景色や食べ物、新しいことや知らないことを知れることも楽しかった。
- **苦労したこと**：一番苦労したことは言語の違い、コミュニケーションです。KMITL の生徒はタイ語だけでなく英語、日本語を話せる学生もいたが、高校生はタイ語しか話せない学生がほとんどだったため、英語で KMITL の学生に伝えそれをタイ語に翻訳して高校生に伝えてもらっていた。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) **語学力の向上**：日本では英語でコミュニケーションをとる機会がないため、英語で会話することにより自分の現在の英語力を把握することができ、足りない点や目標なども明確になった。また本などで学ぶよりもコミュニケーションの中で学ぶ方が印象に残りやすく、日本人同士でも日本語を使わず英語のみで会話する場面もあり今回の留学で語学力の向上を実感できた。
- 2) **専門知識の向上**：タイ語やタイの文化などの多くを学ぶことができた。
- 3) **自己成長など**：私が 4 年生ということもあり、周りの生徒達の面倒を見る場面も多かった。そのため語学力だけでなく状況判断能力などの自己成長も実感できた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

語学だけでなく、理由は何でもいいので少しでも興味があるなら挑戦してみてほしい。
(きれいな海で泳ぎたい。冬日本は寒いから暖かい国に行きたい。でもなんでも OK)

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	200,000
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	2,000
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	お土産込み 20,000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	生活費込み 20,000
その他（ ）	0
留学に関する費用の総額	222,000

